



2020年 埼玉の
食料・農林業・農山村

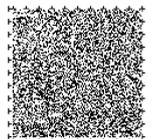


彩の国
埼玉県



埼玉県マスコット
「ヨバトン」「さいたまっち」

音声コード
(Uni-Voice)



専用アプリ又は活字文書読み上げ装置で、情報を音声で聞くことができます。



本県は、恵まれた自然条件と、大消費地である首都圏の中央にある産地という「地の利」を生かし、野菜、米、麦、花き、果樹、畜産など多彩な農業生産が行われています。特に、花きは産出額が全国第4位、小麦は第4位、野菜は第9位と、全国でも有数の産地となっています。また、県土の3分の1を占める森林は、木材を供給するだけでなく、水源の涵養、二酸化炭素の吸収・貯蔵などにも大きな役割を果たしています。

農林業・農山村は、食品産業や観光業などと結びつき、地域経済や県民生活に活力をもたらす役割も担っています。また、県土の保全、美しい風景や伝統文化の維持・形成などを通じて県民の安全で豊かな暮らしにも寄与しています。

一方、農業従事者の高齢化が進む中で農業生産を維持・発展させていくためには、経営力の高い農業経営体を育成するとともに、農地の集積・集約化を進めることが重要となっています。また、経済のグローバル化を背景に、農業分野においても国内外の産地間競争が一層激しくなることが予想されています。

県では、こうした環境の変化に的確に対応し、農林業・農山村の持続的な発展を図るため、「埼玉農林業・農山村振興ビジョン」を策定し、農林業の「稼ぐ力」、農林業に関わる「人財力」、農山村の「地域力」を高める取組を進めています。

農林業の「稼ぐ力」を高めるため、多様なマーケット需要に応える産地の育成、先端技術の活用によるスマート農業・スマート林業の推進などに取り組みます。

また、農林業に関わる「人財力」を高めるため、新規就農希望者の円滑な就農の促進、高い経営力を有する農業法人の育成、女性農業者の資質向上に向けた支援などに取り組みます。

さらに、農山村の「地域力」を高めるため、中山間地域の未利用農地を活用した地元農産物の高付加価値化や魚の放流と外来魚・カワウ駆除による魚影豊かな川づくりなどに取り組みます。

こうした取組を通じて、本県農林業の成長産業化と農山村の持つ様々な機能の充実を図り、豊かで安らぎある県民生活の実現を図ってまいります。

この冊子は、埼玉農林業の現在の姿や令和2年度の主な施策をグラフや写真を使ってまとめたものです。県民の皆様をはじめ多くの方々の御理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和2年9月 **埼玉県知事 大野 元裕**

目次

- 1 本県の概要 1
- 2 全国的にみた埼玉農林業の地位 2
- 3 埼玉農林業の構造 3
- 4 農業生産の現状 7
- 5 令和2年度の主な食料・農林業・農山村施策 13

埼玉県のシンボル



県章



県民の鳥「シラコバト」



県の木「ケヤキ」



県の花「サクラソウ」



県の蝶「ミドリシジミ」



県の魚「ムサシトミヨ」